

## 「第3期京都市市民参加推進計画 骨子案」に関する意見募集の結果について

### 1 募集期間

令和2年12月25日（金）～令和3年1月31日（日） 38日間

### 2 周知方法

ア 意見募集冊子の配布（市役所案内所、区役所・支所、情報公開コーナーその他本市関連施設等）

イ 京都市ホームページへの掲載、SNSの発信（京都市情報館、ポータルサイト「みんなでつくる京都」、Facebook等）

ウ 解説動画の配信（YouTube）【大学生の協力】

エ 対話型パブリック・コメントの実施【中学校・大学の授業、イベント、会合】

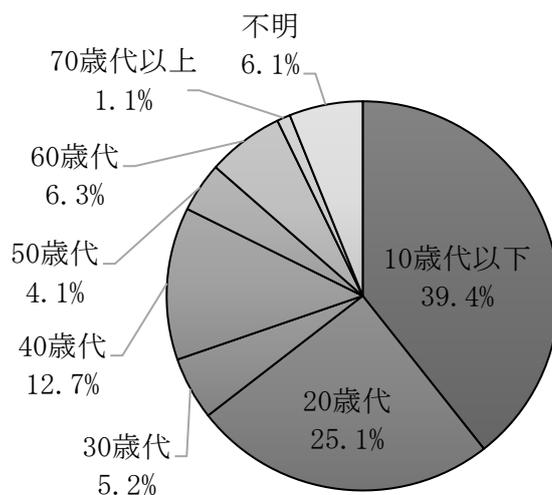
### 3 御意見数

御意見を頂いた方の数：363人 意見の総数：473件

### 4 御意見を頂いた方の属性

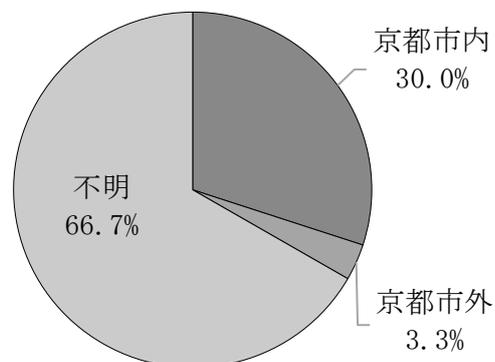
#### ア 年代

年代	人数	割合
10歳代以下	143人	39.4%
20歳代	91人	25.1%
30歳代	19人	5.2%
40歳代	46人	12.7%
50歳代	15人	4.1%
60歳代	23人	6.3%
70歳代以上	4人	1.1%
不明	22人	6.1%
合計	363人	100%



#### イ 居住地

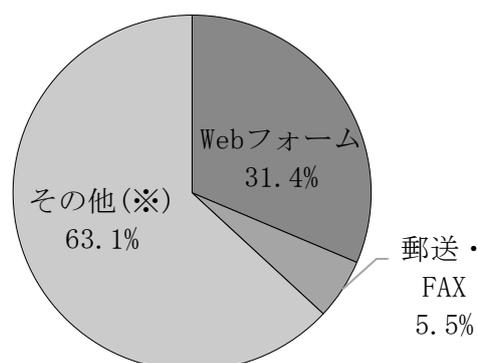
居住地	人数	割合
京都市内	109人	30.0%
京都市外	12人	3.3%
不明	242人	66.7%
合計	363人	100%



## ウ 提出方法

提出方法	人数	割合
Web フォーム	114人	31.4%
郵送・FAX	20人	5.5%
その他(※)	229人	63.1%
合計	363人	100%

※対話型パブコメ，授業内提出等



## 5 御意見の内訳

関連項目	意見数
計画全般	143件
市民との未来像・課題の共有（基本方針1）	55件
市民の市政への参加の推進（基本方針2）	156件
市民のまちづくり活動の活性化（基本方針3）	46件
計画を着実に進めるための推進体制	36件
その他の市政に関する御意見等	37件
合計	473件

## 6 御意見の反映状況

対応分類	件数
A 計画（案）に反映するもの	119件
B 市民意見募集の時点で記載済み又は賛同の趣旨のもの	170件
C 今後の計画推進の際に参考とするもの	147件
D 市政運営等の参考とするもの	37件
合計	473件

## 7 計画（案）への反映（主な意見）

### ア 計画全般（骨子案の具体化に関するもの）

#### 【総括・策定経過・背景等】

- ・これまでの市民参加の総括，評価とそこから見える成果と課題を示すべき。
- ・審議会からの提言書を見て詳しく理解できたので課題認識や背景は詳しく記載した方がよい。
- ・計画の趣旨が，市の諸計画や実施する各事業に貫徹していることが求められる。
- ・本件計画それ自体の制定に市民の参加があったのか知りたい。

#### 【施策の具体化，指標等】

- ・理念の素晴らしい計画だが，計画である以上目標値があってもいいのではないか。
- ・施策の具体例，効果，イメージが湧かない。難しい言葉がある。

### イ 市民との未来像・課題の共有（基本方針1）

#### 【到達の重視，対話の重要性等】

- ・若者への情報発信の方法はどのようにするのか。

- ・信頼や学びにつながる対話について、どのように実現するのか。
- ・市民と職員が未来志向で話し合える場が必要ではないか。
- ・安心安全で話しやすい対話とは。対等の立場とはどういう意味か。

## ウ 市民の市政への参加の推進（基本方針2）

### 【授業等との連携に関するもの】

- ・小さい頃から学んでいけば興味が湧く。授業に取り入れていくことによって自分達も参加出来る事を知ることができる。
- ・学校やその他の教育機関と連携し、小中高の授業の一環として京都市について考えたり、情報発信を行う時間を作ったりするのが良い。

### 【参加しやすくする工夫】

- ・得意な分野や興味のある分野に必要なときに参加できるようにしてほしい。
- ・子育て世代は、仕事、育児で忙しく市民参加する時間がないが、参加することで、地域がよくなる。子育て世代に向けた参加の工夫が必要。

## エ 市民のまちづくり活動の活性化（基本方針3）

### 【まちづくり支援】

- ・新型コロナの影響で、学区の活動がほとんどできていない。高齢者が主体の自治連ではオンラインへの対応など難しいのではないか。
- ・企業などと連携する場合、Win-Winの関係が築ける道筋はあるか。

### 【つながりの拡大】

- ・全く参加していない人を参加させることに限らず、既に活動している人の繋がりを活かして、活動の輪を広げたり、仲間を増やしたり、はたまた次世代を担う中心的人物の育成やそういった人との関係づくりなどこそ、裾野拡大の本質ではないか。
- ・ファシリテーターによる対話の場づくりは重要。市民も年齢や立場など関係なくファシリテーターの役割を担えるようになればいいのではないか。

## オ 計画を着実に進めるための推進体制

- ・変革に挑戦する組織とは、述べるのは簡単だが、これまで培ってきた組織体制を変革するという部分において、非常に難しい課題である。
- ・行政や市職員がまちづくり活動をする方にしっかりと寄り添う姿勢が大事。
- ・市民が市政参加に主体的に進んで取り組むのが理想だが、職員が地域に出向くことによって、市民も心を開き情報を受け入れやすいと思う。
- ・信頼を築くには一緒に活動することだと思う。住んでいる場所の町内会に限らず、職員の方にはどんな形であれ、社会活動に参加してほしい。

## 8 御意見の要旨と御意見に対する本市の考え方

別紙のとおり